

出題のねらい

ア. 全般的なねらい

思考力や想像力を働かせて国語を正確に理解し、適切に表現する力をみるために、国語の基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題した。

イ. 各問いのねらい

- ① 「人間への信頼」について、人間は本性上信頼すべき存在だと考えるのではなく、善も悪もなし得る可能性を備えた存在として、あえて善を選択するところにあらゆる価値が生まれることを指摘し、そこに人間信頼の根拠を見出すという考えを述べた説明的な文章によって、言葉の知識・意味、文章構成を考慮しつつ、内容や筆者の主張を読み取る力をみるとともに、それを的確に表現する力をみる。
- ② 春の眠りの心地よさを詠んだ孟浩然の漢詩「春暁」と、それを解説した文章の一節を取りあげることによって、古典に関する基本的な知識に基づいて内容を的確に読み取るとともに、漢詩における訳の広がりや表現の巧みさに気づき、その工夫を具体的に説明できる力をみる。
- ③ 女子卓球部との練習場を巡る試合を通して、部長の「幸平」をはじめ、5人の男子卓球部員たちと、その人間的成長を見守る部活動の顧問の先生とのやりとりを描いた文学的文章によって、登場人物の心情を想像力を働かせつつ表現や構成に着目して読み取り、それを的確に表現する力をみる。